

授業科目	心理測定法				
担当者	松井 理直				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

言語聴覚士の仕事で用いられる各種心理測定法の意味に関する理解を深めると共に、人間の心理を客観的に把握する方法の習得を目指す。

■ 到達目標

言語聴覚士として必要不可欠な心理学の知識を身につけると共に、国家試験問題に対応できる応用力を身につけること。

■ 授業計画

- 第1回 心理テストの特徴とテストの信頼性・再現性。
- 第2回 精神物理学的測定法（1）—調整法
- 第3回 精神物理学的測定法（2）—極限法と恒常法
- 第4回 尺度構成について。
- 第5回 一対比較法と感覚尺度。
- 第6回 Weber の法則について
- 第7回 Fechner の法則について
- 第8回 Weber-Fechner の法則と音響学の関係
- 第9回 Stevens のベキ法則について
- 第10回 信号検出理論について
- 第11回 統計学の基礎
- 第12回 各種統計学の考え方
- 第13回 各種心理テスト法の特徴について
- 第14回 認知能力とことばの心理
- 第15回 心理測定法の総復習

■ 評価方法

筆記試験 80%、小テスト 20%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間 1 時間程度。復習時間は個人の理解度によるが、1 時間程度。

■ 教科書

書 名：プリントを配布

■ 参考図書

--

■ 留意事項

授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をすること。
質問は大歓迎なので、授業中に可能な限り内容を理解するようにしてください。
小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

■ 講義受講にあたって